

新型コロナ

感染前週比2倍 4.5万人

派生型拡大 第7波懸念

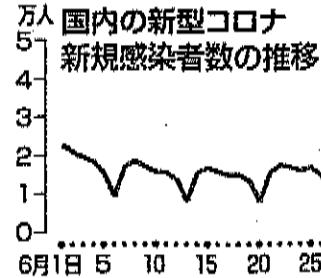
国内で6日、新たに4万55821人の新型コロナウイルス感染者が確認された。前週の同じ曜日からほぼ倍増し、全都道府県で増えた。4万人を上回るのは5月18日以来、約2カ月ぶり。感染が広がりやすいといわれるオミクロン株の新たな派生型「BA・5」への置き換わりが急速に進んでいるとなり、流行「第7波」の懸念が強まっている。

【4・31面】関連記事

政府、旅行支援延期へ

厚生労働省は6日までに、医療提供体制の点検と強化を都道府県などに文書で要請。政府は、都道府県

が行う「県民割」を広げる形の全国旅行支援について、予定していた7月前半の開始を延期する方向で調整に入った。参院選後の来週に最終判断する。



都道府県別の新規感染者

数は東京8341人、大阪4621人、神奈川3038人で、いずれも前週比で2倍以上となつた。鳥取は215人で過去最多。感染者数は5月中旬以降、減少傾向だったが、6月下旬に増加に転じていた。

厚労省によると、全国の重症者は68人で前日から8人増えた。BA・5の重症化のしやすさは、従来のオミクロン株と大差ないとされる。

厚労省の要請は5日付。

ほし」と求めた。

流行「第6波」では、介助に入手が必要な高齢者の入院が円滑に進まなかつた。自治体は、介護やハビリに対応できる職員を病院や臨時医療施設に配属できる体制を整え、高齢患者の受け入れ能力向上を図る。自宅療養者への対応では、健康観察やオンライン診療を担う地域の医療機関との連携を再確認する。

高齢者向け病床確保や自宅療養者対応の拡充などを進め、熱中症による救急搬送が増えていたとして注意を促し、「コロナ医療と通常医療、特に救急医療とのバランスに留意して対応して

介護施設ではクラスター（感染者集団）が発生する恐れがあるため、医師や看護師を確実に派遣できるようにして安全性を高める。

流行「第6波」では、介助に入手が必要な高齢者の入院が円滑に進まなかつた。自治体は、介護やハビリに対応できる職員を病院や臨時医療施設に配属できる体制を整え、高齢患者の受け入れ能力向上を図る。自宅療養者への対応では、健康観察やオンライン診療を担う地域の医療機関との連携を再確認する。

介護施設ではクラスター（感染者集団）が発生する恐れがあるため、医師や看護師を確実に派遣できるようにして安全性を高める。

「BA・5」免疫すり抜け

3回目後時間 ワクチン効果減も

新型コロナウイルス感染者の増加要因とされるのが、ワクチンの効果の減少と、免疫をすり抜ける性質を持つとみられるオミクロン派生型「BA・5」への書き換わりだ。2020年、21年とも夏に感染拡大が起きており、流行「第7波」への警戒が強まる。

【1回に本記】
BA・5は南アフリカで見つかった。国立感染症研究所や欧米諸島などによる研究が、BA・5の感染拡大が、BA・5の感

染で得た免疫をすり抜ける性質があるとみられ、感染の広まりやすさが、「これまで主流だったBA・2を

約35%上回るとの英保健当局の6月時点の試算もある。京都大の西浦博教授は、「書き換わりが進むにつれ、感染者増加に加速化がみられる」と現状を分析す

る。

ワクチン接種から時間が経過し、感染予防効果が下がることも関係しているとみられる。3回目接種が始まつたのは昨年12月。一般的な高齢者でも年明けからス

タートし、早い人では3回目から半年ほどが経過した。厚生労働省による新型コロナ対策を助言する専門家組織の脇田隆字座長は、「今後夏休みなどで人々の接触の機会が増えるとし」「つながりの増加が続く可能性がある」と指摘している。

米国でも拡大している。日本では5月に検査で確認された。

感染拡大は、BA・5の感染者が占める割合は7月第

国内での確認		950万2558人(+4万5821) [3万] 364	
北海道	38万5433(+821)	2097	福井 3万9826(+187) 46
新潟県	6万5504(+390)	115	山梨 3万5123(+172) 69
秋田県	3万8709(+223)	97	長野 7万8748(+303) 205
岩手県	9万55642(+491)	201	岐阜 10万9883(+593) 348
群馬県	3万2365(+84)	72	岡山 18万2358(+853) 421
栃木県	3万1046(+120)	97	愛媛 58万0536(+2737) 2100
埼玉県	6万7438(+223)	227	高知 8万9262(+569) 313
千葉県	16万8641(+339)	448	香川 9万6921(+396) 221
東京都	9万5015(+275)	278	滋賀 21万5771(+1010) 751
神奈川県	9万9500(+357)	323	京都 103万1159(+4621) 5216
東北地方	57万7303(+2043)	1665	大阪 45万1304(+1877) 2252
福島県	47万0925(+1659)	1800	奈良 9万5900(+459) 392
宮城県	162万6196(+8341)	4595	和歌山 4万5972(+300) 118
岩手県	79万2253(+3036)	2240	鳥取 1万7440(+215) 20
青森県	7万6731(+295)	91	島根 2万2533(+690) 17
新潟県	4万0933(+252)	96	沖縄 1万9980(+24) 8
福島県	8万1125(+343)	193	チャーター機 14

国内の新型コロナウイルス感染者		950万3270人(+4万5821) [3万] 13	
6日午前0時現在	厚生労働省による	6日午前0時現在	コスタアトランチカ (横浜クルーズ船) 149
19万0582人[68]		1万9980 (+24)	712 13
921万0820人(+1万4838)		チャーター機 14	

入院・療養(うち軽症)	19万0582人[68]	6日午前0時現在	950万3270人(+4万5821)
退院・療養解除	921万0820人(+1万4838)	厚生労働省による	死者 3万1377人(+12)

()内は前日からの増加。団内の数字は死者

派生型「BA・5」
株の派生型。2月に南アフリカで見つかり、その後、世界各國で確認されている。これまで国内で流行した

A・2がある。感染やワクチンに

よってできた免疫をかいくぐる能力がある」とされ、「これまでの派生型と比べても、感染が広がりやすい」とみ

られた。國立感染症研究所は、「今月

大差はない」と考えられている。